

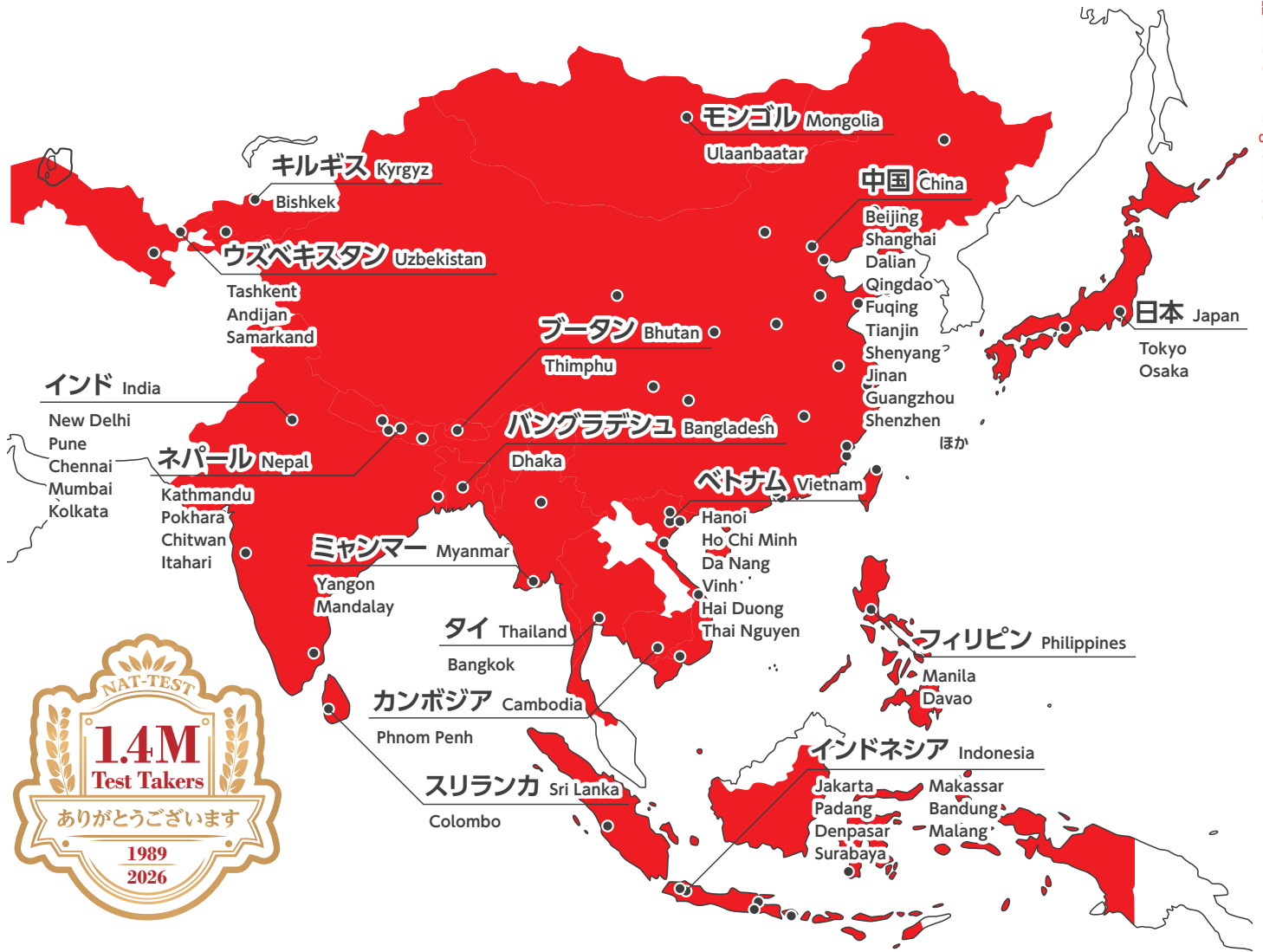
日本語 NAT-TEST 2026

since 1989

CEFR Aligned



日本語 NAT-TEST は日本語教育の参照枠に対応しています。
NAT-TEST is aligned with "The Reference Framework for Japanese Language Education Based on CEFR."



日本語 P.2-5

English P.6-9



JLPTと同じ形式

Same Format as JLPT

ビザ申請の日本語能力証明

Certificates Recognized for Student and Work Visa Applications

毎月受けられる

※ 会場によって変わることがあります。
The schedule may vary depending on the test center.

Conducted Monthly

16か国100以上の試験会場

Conducted in 16 Countries / Conducted at Over 100 Test Centers

試験日・受験できる級・試験会場は、
公式ホームページをご確認ください。

Please check www.nat-test.com
for more information.

Facebook



Website



Schedule



日本語NAT-TESTとは

日本語 NAT-TEST は、日本語を母語としない方々の日本語能力を測定する検定試験です。「文字・語彙・文法」「読解」「聴解」の習熟度を評価し、日本語能力を総合的に判定します。1989年に始まり、2007年に現在の名称になりました。留学ビザや技能実習（介護）ビザの申請、進学や就職の際の日本語能力証明として幅広く活用されています。

累計申込者数はのべ 135 万人を超えました (2007年第1回～2025年10月)。

名称	日本語 NAT-TEST(にほんごナットテスト/The Japanese Language NAT-TEST)
目的	日本語を母語としない人の日本語能力を測定し判定すること
主催者	株式会社専門教育出版 (所在地：東京都新宿区)
実施回数	年 12 回 ※1級は年 3 回 (2月、6月、10月)。会場によって変わることがあります。
実施月	毎月 ※会場によって変わることがあります。
実施国	16 か国 (詳細は表紙の地図をご覧ください)
レベル	1 級から 5 級までの 5 段階
出題形式	日本語能力試験に準拠
出題内容	日本語能力試験に準拠
試験形式	選択式 (PBT、CBT)
結果発表	試験日から 3 週間以内にホームページで発表 受験者に成績表を発行、合格者に合格証を発行

日本語NAT-TESTの特徴

毎月開催 ※会場によって変わることがあります。

日本語 NAT-TEST は毎月開催されており、学習者の目的やスケジュールに合わせて柔軟に受験できる試験です。繰り返して受験していただくと、学習の進捗や不得意分野を把握でき、効率的な学習に役立ちます。

日本語能力試験と同じ形式

日本語 NAT-TEST の出題形式や出題傾向は、日本語能力試験 (JLPT) とほぼ同じです。日本語能力試験の模擬試験としてご利用になれます。

試験日から 3 週間以内に結果発表

試験日から 3 週間以内に、合格者の受験番号がホームページで公開されます。結果がすぐに分かるので、次の目標に向けてスムーズに学習を進めることができます。

留学・技能実習(介護)ビザ申請用の証明書を発行

日本語 NAT-TEST の「成績証明」は、ビザ申請や大学出願時などの日本語能力証明としてご利用いただけます。

成績表



成績表には合否判定だけでなく、分野ごとの得点や評価などの詳細なデータが記載されています。弱点を把握し、効率的な学習に役立てることができます。

合格証



合格者には顔写真入りの合格証を発行します。

テストの難易度と出題基準

級	難易度と出題基準	想定する受験者
1 級	日本語能力試験 N1 に準拠 日本語教育の参照枠 B2 ~ C1 相当	○日本語学習時間が 1,000 時間程度の上級の学習者 ○日本の大学・大学院進学、日本語能力試験 N1 合格を目指す学習者
2 級	日本語能力試験 N2 に準拠 日本語教育の参照枠 B1 ~ B2 相当	○日本語学習時間が 800 時間程度の中級後半の学習者 ○日本の大学・専門学校進学、日本語能力試験 N2 合格を目指す学習者
3 級	日本語能力試験 N3 に準拠 日本語教育の参照枠 A2 ~ B1 相当	○日本語学習時間が 600 時間程度の中級前半の学習者 ○日本の大学・専門学校進学、日本語能力試験 N3 合格を目指す学習者
4 級	日本語能力試験 N4 に準拠 日本語教育の参照枠 A2 相当	○日本語学習時間が 400 時間程度の初級後半の学習者 ○日本語能力試験 N4 合格を目指す学習者
5 級	日本語能力試験 N5 に準拠 日本語教育の参照枠 A1 相当	○日本語学習時間が 200 時間程度の初級前半の学習者 ○日本語能力試験 N5 合格を目指す学習者

※日本語能力試験 (JLPT) は、独立行政法人国際交流基金と公益財団法人日本国際教育支援協会が共催する試験です。

テストの内容

級	試験分野	試験時間	内容	得点区分	配点	基準点	総合得点	合格点			
1級	言語知識 (文字・語彙・ 文法)・読解	110分	文字・語彙：漢字読み、文脈規定、言い換え類義、用法 / 文法：文法形式の判断、文の組み立て、文章の文法 / 読解：内容理解(短文、中文、長文)、統合理解、主張理解、情報検索	言語知識 (文字・語彙・ 文法)	60点	19点	180点	100点			
				読解	60点	19点					
	聴解	55分	課題理解、ポイント理解、概要理解、即時応答、統合理解	聴解	60点	19点					
2級	言語知識 (文字・語彙・ 文法)・読解	105分	文字・語彙：漢字読み、表記、語形成、文脈規定、言い換え類義、用法 / 文法：文法形式の判断、文の組み立て、文章の文法 / 読解：内容理解(短文、中文)、統合理解、主張理解、情報検索	言語知識 (文字・語彙・ 文法)	60点	19点	180点	90点			
				読解	60点	19点					
	聴解	50分	課題理解、ポイント理解、概要理解、即時応答、統合理解	聴解	60点	19点					
3級	言語知識 (文字・語彙)	30分	漢字読み、表記、文脈規定、言い換え類義、用法	言語知識 (文字・語彙・ 文法)	60点	19点	180点	95点			
	言語知識 (文法)・読解	70分	文法：文法形式の判断、文の組み立て、文章の文法 / 読解：内容理解(短文、中文、長文)、情報検索						読解	60点	19点
	聴解	40分	課題理解、ポイント理解、概要理解、発話表現、即時応答						聴解	60点	19点
4級	言語知識 (文字・語彙)	25分	漢字読み、表記、文脈規定、言い換え類義、用法	言語知識 (文字・語彙・ 文法)・読解	120点	38点	180点	90点			
	言語知識 (文法)・読解	55分	文法：文法形式の判断、文の組み立て、文章の文法 / 読解：内容理解(短文、中文)、情報検索						読解	60点	19点
	聴解	35分	課題理解、ポイント理解、発話表現、即時応答						聴解	60点	19点
5級	言語知識 (文字・語彙)	20分	漢字読み、表記、文脈規定、言い換え類義	言語知識 (文字・語彙・ 文法)・読解	120点	38点	180点	80点			
	言語知識 (文法)・読解	40分	文法：文法形式の判断、文の組み立て、文章の文法 / 読解：内容理解(短文、中文)、情報検索						読解	60点	19点
	聴解	30分	課題理解、ポイント理解、発話表現、即時応答						聴解	60点	19点

※聴解分野の試験時間は回により若干増減します。

合格基準

日本語 NAT-TEST では、合格基準として「総合得点が合格点を上回っていること」と「各得点区分の得点が基準点を上回っていること」の2つの条件を満たす必要があります(基準点は得点区分ごとに異なります)。この基準は、偏りのない総合的な日本語能力を評価するために設けられています。基準点は2007年に導入されました。

お申し込み方法

申込方法と受験料は試験を受ける会場ごとに異なります。詳しくは各試験会場の事務局にお問い合わせください。事務局のお問い合わせ先は、ホームページ < www.nat-test.com > をご覧ください。申込締切日は試験日の約4週間前です。

最も信頼される日本語試験をめざして

不正行為の撲滅へ

日本語 NAT-TEST では、公正な試験運営を実現するため、試験中のカンニングや替え玉受験などの不正行為に対して厳正に対応しています。具体的には、以下のような対策を実施しています（一例）。

厳正公正な試験運営の徹底

日本語 NAT-TEST では、試験を厳正公正に実施することを最優先事項として取り組んでいます。試験は、公正かつ円滑に運営するためのマニュアルに基づいて実施されています。

試験前

試験会場の整備

- ・机の間隔や試験監督の配置の規定
- ・本部監察官、第三者委員による監察

試験問題の漏洩対策

- ・試験資材の厳封および厳重な保管規定
- ・試験当日、受験者の前での開封規定

試験中

不正受験対策

- ・公的身分証と顔写真付受験票での本人確認
- ・解答用紙の受験番号、名前の書換防止策
- ・受験者からの通報システム

試験後

厳正公正な試験結果

- ・カンニングを無効化するシステムの導入
- ・試験後の不正者認定措置
- ・不正受験者の再受験禁止措置
- ・各種証明書の偽造防止処理
- ・匿名での通報専用アドレスの公開

監視カメラによる不正者対策



アンディジャン会場の例

死角を生まない試験監督の配置規定



マニラ会場の例

試験問題が事前漏洩していないことを受験者の前で証明



机の間隔などを規定した厳格な会場規定



ウランバトル会場の例

30年におよぶデータとノウハウをもとにした試験問題の開発

高品質な試験問題

試験問題は、ベテランの日本語教師を中心とした作問委員が、出題基準に基づいて丁寧に作成しています。その後、長年日本語教材の開発に携わってきた編集者が基準検討委員として、出題基準との整合性を慎重に確認しています。

明確な出題基準

級ごとに語彙や漢字などの出題基準を設け、レベルに応じた適切な問題作成を行っています。出題基準の底本については11ページをご参照ください。

試験問題開発の流れ

1. 作問委員が出題基準に基づき問題案を作成
2. 編集委員が問題案をまとめて初稿を作成
3. 基準検討委員が出題基準との整合性を確認
4. 校閲委員が試し解きを実施
5. 上記のプロセスを繰り返し、完成

毎回の試験の解答データを集計

すべての試験問題の解答データを毎回集計し、正答率や解答の傾向などを分析しています。得られたデータは次回以降の作問に活用されています。

日本語NAT-TESTのご活用

①日本語能力試験の模擬試験として

日本語能力試験と同じ形式の試験なので、日本語能力試験の模擬試験としてご利用いただけます。毎月*受験可能で、繰り返し腕試しができます。
*1級は年3回開催。会場によって変わることがあります。

②学生募集の条件や入学試験として

日本語 NAT-TEST を入学選考等でご利用いただくことで、受験者の実力や学習意欲を事前に把握でき、入学後の適切な指導に役立ちます。

③ビザ申請時の日本語能力証明として

日本語 NAT-TEST の成績証明は、留学ビザや技能実習(介護)ビザの申請時に日本語能力証明として出入国在留管理庁に提出できます。併せて下記の「成績証明の申請について」もご覧ください。

④日本語習熟度の確認に

成績表には合否判定のほか、得点区分別の得点などが記載されています。学習者は自身の不得意分野を把握し、学習の効率化に役立てることができます。

成績証明の申請について

- 申請方法は公式ホームページにてご案内しております。発行手数料は無料ですが、送料をご負担いただけます。
- 電話での受付や、成績結果の口頭またはFAXでの回答はしておりません。
- 成績証明の発行は日本語学校、大学、専門学校、企業、技能実習監理団体宛のみとさせていただきます。



成績証明申請書

成績証明

日本語NAT-TESTの歩み

1989年、専門教育出版は長年の日本語教材開発の実績をもとに『日本語学力テスト』を開発し、東京で初めて開催しました。以来、日本語学力テストは国内外の日本語学校や高校で、学内の定期試験や日本語能力試験の模擬試験として広く活用されています。2007年、“中国向けの日本語学力テスト”として名称を『日本語 NAT-TEST』に変更し、最初の試験を開催しました。その後、世界各国での開催へと展開し、多くの日本語学習者の皆さまにご利用いただいております。本テストの成績証明は、留学ビザや技能実習(介護)ビザの申請時に日本語能力証明として地方出入国在留管理局へ提出できます。また、本テストは、日本語能力が「日本語教育の参照枠」のA2レベル以上であることを証明するものとして、省庁や教育機関で利用されています。

The Japanese Language NAT-TEST

The Japanese Language NAT-TEST is an examination designed to measure the Japanese language ability of non-native Japanese speakers. By measuring vocabulary, grammar, reading and listening skills, the NAT-TEST gives a general evaluation of the test taker's Japanese proficiency. The first exam was held in 1989 and changed to its current name in 2007. Now, the Certificate is used as the proof of Japanese language skills for visa application* and university application for admission. **The total number of applicants has exceeded 1,350,000** (Since the 2007 1st test until the October 2025 test).

*Student visas, Technical Intern Training visas (care worker)

Name	The Japanese Language NAT-TEST
Purpose	To test and determine the Japanese ability of non-native Japanese speakers
Sponsor	Senmon Kyouiku Publishing Co., Ltd. (located in Shinjuku-ku, Tokyo, Japan)
Frequency	Can be taken 12 times a year (1Q is held 3 times per year. It may change depending on the test center)
Dates	Monthly (The schedule may vary depending on the test center)
Host Countries	16 countries (Please refer to the cover page)
Levels	Five levels, ranging from 1Q (most difficult) to 5Q (easiest)
Style	Based on the Japanese Language Proficiency Test (JLPT)
Content	Based on the Japanese Language Proficiency Test (JLPT)
Format	Multiple-Choice test (PBT, CBT)
Results	Exam results will be posted on our website within 3 weeks after the test. All examinees will receive a Score Report and those who pass will receive a Certificate of Proficiency.

Features of NAT-TEST

Conducted monthly *The schedule may vary depending on the test center.

The NAT-TEST is conducted monthly so that it can meet the needs and schedules of each and every student. By taking the exam multiple times, you can determine your weak areas and points to focus on in further Japanese studies.

Uses the same format as JLPT

Because the NAT-TEST is based on the Japanese Language Proficiency Test (JLPT), the format and types of questions are virtually the same. The NAT-TEST can also be used as a mock examination for those taking the JLPT.

Results announced within 3 weeks

Within 3 weeks of exam day, we will announce the results of the exam on our website. Because you will know the results soon after the exam, you can use it as a way to gauge your progress and set new goals for your Japanese studies.

Valid for student & work visa applications*

Japanese language schools, universities, vocational schools, and companies located in Japan can request our "Institution Score Report," recognized as proof of Japanese language ability in visa or university admission applications.

*Student visas, Technical Intern Training visas (care worker)

Score Report



The Score Report lists whether the examinee has passed/failed the exam, and also gives a detailed breakdown of the performance on each section of the exam.

Certificate



We will send each passing examinee a Certificate with their photograph attached to it.

Exam Difficulty and Criteria

Level	Difficulty and exam criteria	Expected examinees
1Q	Equivalent to JLPT N1 Equivalent to CEFR B2-C1	One has studied Japanese for approximately 1,000 hours. One intends to enter a Japanese university, graduate school or is seeking to pass N1 of the JLPT.
2Q	Equivalent to JLPT N2 Equivalent to CEFR B1-B2	One has studied Japanese for approximately 800 hours. One intends to enter a Japanese university, graduate school or is seeking to pass N2 of the JLPT.
3Q	Equivalent to JLPT N3 Equivalent to CEFR A2-B1	One has studied Japanese for approximately 600 hours. One intends to enter a Japanese university, graduate school or is seeking to pass N3 of the JLPT.
4Q	Equivalent to JLPT N4 Equivalent to CEFR A2	One has studied Japanese for approximately 400 hours. One is seeking to pass N4 of the JLPT.
5Q	Equivalent to JLPT N5 Equivalent to CEFR A1	One has studied Japanese for approximately 200 hours. One is seeking to pass N5 of the JLPT.

Content of NAT-TEST

Level	Section	Time allotted	Content	Scoring Section	Maximum Score	Sectional Pass Marks	Total Score	Overall Pass Marks
1Q	Language Knowledge (Vocabulary, Grammar), Reading	110 min	<Vocabulary> Kanji reading, contextually-defined expressions, paraphrases, usage <Grammar> Selecting grammar form, sentence composition, text grammar <Reading> Comprehension (short, mid-size and long passages), integrated comprehension, thematic comprehension (long passages), information retrieval	Language Knowledge (Vocabulary, Grammar)	60	19	180	100
				Reading	60	19		
	Listening	55 min	Task-based comprehension, comprehension of key points, comprehension of general outline, quick response, integrated comprehension	Listening	60	19		
2Q	Language Knowledge (Vocabulary, Grammar), Reading	105 min	<Vocabulary> Kanji reading, orthography, word formation, contextually-defined expressions, paraphrases, usage <Grammar> Selecting grammar form, sentence composition, text grammar <Reading> Comprehension (short and mid-size passages), integrated comprehension, thematic comprehension (long passages), information retrieval	Language Knowledge (Vocabulary, Grammar)	60	19	180	90
				Reading	60	19		
	Listening	50 min	Task-based comprehension, comprehension of key points, comprehension of general outline, quick response, integrated comprehension	Listening	60	19		
3Q	Language Knowledge (Vocabulary)	30 min	Kanji reading, orthography, contextually-defined expressions, paraphrases, usage	Language Knowledge (Vocabulary, Grammar)	60	19	180	95
	Language Knowledge (Grammar), Reading	70 min						
	Listening	40 min	Task-based comprehension, comprehension of key points, comprehension of general outline, verbal expressions, quick response	Listening	60	19		
4Q	Language Knowledge (Vocabulary)	25 min	Kanji reading, orthography, contextually-defined expressions, paraphrases, usage	Language Knowledge (Vocabulary, Grammar), Reading	120	38	180	90
	Language Knowledge (Grammar), Reading	55 min						
	Listening	35 min	Task-based comprehension, comprehension of key points, verbal expressions, quick responses	Listening	60	19		
5Q	Language Knowledge (Vocabulary)	20 min	Kanji reading, orthography, contextually-defined expressions, paraphrases	Language Knowledge (Vocabulary, Grammar), Reading	120	38	180	80
	Language Knowledge (Grammar), Reading	40 min						
	Listening	30 min	Task-based comprehension, comprehension of key points, verbal expressions, quick responses	Listening	60	19		

*The time allotted for the listening section may slightly differ in each exam.

Passing Criteria

There are two criterias for passing the test. The first criteria is that the examinee must score more than the Overall Pass Marks for the test. The second criteria is that the examinee must score more than the Sectional Pass Marks on each Scoring Section of the test. If the requirements are met, examinees will be deemed to have passed the test. (Note: The Sectional Pass Marks differs in each Scoring Section.) This rule is intended to ensure an unbiased evaluation of each examinee's Japanese language ability. NAT-TEST has been using the Sectional Pass Marks since 2007.

How to Apply

The application procedures and fees vary by test site. For details, please contact your chosen site directly. Test center contact information is available on our website at <www.nat-test.com>. Applications are typically due about four weeks before the test date.

To Become the Most Reliable Japanese Language Test

No dishonest behaviors allowed

Dishonest behaviors such as cheating and proxy test-taking are strictly prohibited. The following measures (examples) are taken to combat dishonest behaviors.

Exam carried out with strict integrity

Conducting the test with strict integrity is of top priority in the NAT-TEST. An administration manual is prepared to carry out a fair and smooth test. All tests are held based on the administration manual.

Before the exam

Preparation of test sites

- Spacing between desks and regulations of the position of proctors
- Inspection from head office and independent committee

Prevention of leakage of exam materials

- Regulations regarding sealing and storage of exam materials
- Regulations of opening exam materials in front of examinees on test day

During the exam

Coping with dishonest behaviors

- Identity verification by official ID cards and admission tickets with face photos
- Prevention of changing examinee's number and name on the answer sheet
- Reporting system from examinees

After the exam

Strict and fair exam results

- System of disabling cheating
- Measures to identify cheaters
- No retaking exams by cheaters
- Prevention of forgery of Certificates
- Email address for anonymous reporting

Monitoring with surveillance cameras



An example from the Andijan test site

Position of proctors without any blind spots



An example from the Manila test site

Proof of preventing leakage of exam materials in front of examinees



Suitable distance between desks



An example from the Ulaanbaatar test site

Test Development Based on Over 30 years of Data and Experience

Exam with high quality

Exam questions are developed by veteran Japanese language instructors. Textbook writers and editors as a standards-fixing committee strictly check if the questions conform to the guidelines of questions.

Clear guidelines of questions

Guidelines including vocabulary and kanji are set for each level so that suitable questions are written according to the level. For the guidelines, please refer to p.11.

Process of test development

1. Test-writers design questions based on the guidelines.
2. Editors revise the questions and prepare a first draft.
3. The standards-fixing committee checks if the questions conform to the guidelines of questions.
4. The proofreading committee pretests the materials.
5. The above steps are repeated until the final draft is completed.

Aggregation of data for every test

All question data are aggregated after every test to analyze the percentage of correct answers and tendency which will be utilized in developing the next test.

Advantages of NAT-TEST

1. For JLPT preparation

Adopting the same format as the Japanese Language Proficiency Test (JLPT), the NAT-TEST is the best mock exam for the JLPT. Examinees can take the test monthly*, so one can try as many times as he/she can.

*Level 1Q is held 3 times per year. The schedule may vary depending on the test center.

2. For admission application or entrance exam

Using the NAT-TEST as a requirement for admission, Japanese proficiency and motivation of examinees can be known before admission and hence, suitable guidance can be more easily provided to students.

3. For visa application

The Institution Score Report of the NAT-TEST can be submitted to the Immigration Bureau of Japan for the application of Student visas and Technical Intern Training visas (care worker). Please refer to "How to apply for Institution Score Report" for details.

4. For evaluating your Japanese proficiency

Other than Pass/Fail, the general score and a detailed breakdown of every section are shown on the Score Report. Taking the test on a regular basis will let examinees know their strong and weak points.

How to apply for Institution Score Report

- Please confirm the official website for applying. It is free of charge (Postage will be charged).
- We do not accept application by phone or answer any questions regarding examinees' results by phone or fax.
- Institution Score Reports are only issued to Japanese language schools, universities, vocational schools, companies, and supervising organizations of technical intern trainees located in Japan.



Application form for Institution Score Report

Institution Score Report

History of the Japanese Language NAT-TEST

In 1989, Senmon Kyouiku Publishing launched the "Japanese Language Achievement Test," leveraging years of experience in developing Japanese learning materials. Initially held in Tokyo, it has since been widely used as a mock test for the JLPT and internal exams at Japanese language schools and high schools worldwide. Renamed the "Japanese Language NAT-TEST" in 2007 to serve learners in China, the test has since expanded globally, supporting countless Japanese language learners. NAT-TEST score certificates are accepted by Regional Immigration Bureaus in Japan as proof of Japanese proficiency for student and Technical Intern Training (Caregiver) visa applications. They are also recognized as meeting A2-level or higher standards in the "Reference Framework for Japanese Language Education Based on CEFR."

日本語 NAT-TEST 関連書籍のご案内

公式問題集・公式ガイドブック

日本語 NAT-TEST 公式問題集 (1級~5級)

○授業での使用にはもちろん、ふりがなつきなので自習教材としても最適です。

○問題形式が同じなので日本語能力試験対策にもぴったりです。

※ 1級は近日発売予定です。

問題のポイント

言葉を正しい順番に並べて、文を作る問題です。____の前と後の言葉を見て、どんな言葉のどんな形が入るかを考えましょう。文法リスト(125ページ〜)を使って、5級の文法を見ましょう。

例1 わたしは おんがくを _____ ★ _____ います。
a. して b. ながら

2つの言葉のセットを作る方法で解く

1. [ながら]の前には動詞の「ま
2. 文法の「います」の前に入るの

これで、「聞き ながら」のセットと「し

3. 「おんがくを」に続く動詞は「聞く」なので、「あ

**現役日本語教師監修の
解答法指導**

詳細な解説で解答のコツを学習

第1回 模擬テスト 解答用紙

使い方

模擬テストの解答用紙です。模擬テストを解くときに使ってください。

言語知識(文字・語彙) 解答欄

1	a b c d	11	a b c d	21	a b c d	31	a b
2	a b c d	12	a b c d	22	a b c d	32	a b
3	a b c d	13	a b c d	23	a b c d	33	a b
4	a b c d	14	a b c d	24	a b c d	34	a b
5	a b c d	15	a b c d	25	a b c d	35	a b
6	a b c d	16	a b c d	26	a b c d	36	a b
7	a b c d	17	a b c d	27	a b c d	37	a b
8	a b c d	18	a b c d	28	a b c d	38	a b
9	a b c d	19	a b c d	29	a b c d	39	a b
10	a b c d	20	a b c d	30	a b c d	40	a b

**マークシートに慣れて
試験当日も安心**

模擬試験で試験形式に慣れる

文法リスト ※本書発行日時点における「日本語 NAT-TEST」5級の文法の出題基準で

文法	訳	例文
Nがある	There is/are~	つくえの 上に ペンが ある。
Nです		わたしは 学生です。
N		わたしは 日本人では ありませ
N		

語彙リスト ※本書

語彙	漢字
ほん	本
ああ	感動詞 / 肯定
アイスクリーム	
あいだ	間
あう	会う
おお	表

**「調べて」「書いて」「覚える」
学習の基礎力が育ちます**

付属の赤シートで隠して語彙と文法を暗記



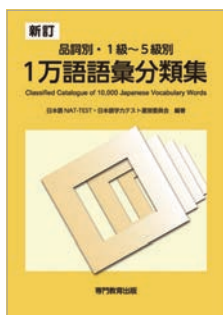
出題基準底本

日本語NAT-TESTで出題される語彙・漢字を網羅!

ベテランの日本語教師と日本語教材編集者がタッグを組み、現代の日本語教育の現場に必要な語彙を厳選して掲載しました。日本語 NAT-TEST や日本語能力試験の対策などにぜひご活用ください。

- ① N1合格に必要な使用頻度の高い語彙・漢字を厳選して収録
- ② 語彙・漢字を日本語能力試験に対応した5レベルに分類
- ③ 常用漢字表のすべての漢字を収録 ※漢字基準表のみ

語彙



【新訂】品詞別・1級～5級別
1万語語彙分類集
B5判 464頁 9,000円＋税

日本語教育に必要な基本語彙10,068語を厳選。すべての語彙を品詞別と1級(N1)～5級(N5)別に分類して収録しました。

語彙が品詞やレベル別に一覧になっています。語彙の小テストの作成に便利です。

漢字



【新訂】2,456漢字・1級～5級別
語彙別漢字基準表
B5判 296頁 9,000円＋税

平成22年改訂の「常用漢字表」のすべての漢字と『新訂1万語語彙分類集』で使用された漢字を含めて、2,456漢字を収録しました。

漢字ごとに読み・レベル・学年配当つきです。漢字の小テストの作成に便利です。

いんしょくてん ～ うさぎ 25										
No.	NAT-TEST	旧日能試	語彙	漢字・表記	名詞	カタカナ語	動詞	形容詞	副詞	振語・擬態語
606	3		いんしょくてん	飲食店	○					
607	3		インスタント…		○					
608	1		インターチェンジ		○					○
609	3	1	インターナショナル		○					
610	5		インターネット		○					
611	1	1	インターホン・インターフォン		○					
612	2	2	引退	引退			○			
613	3	2	インタビュ		○					
614	1		いんちき		○				○	
615	1	1	インテリ		○					
616	2		インテリア		○					
617	2	1	インフォメーション		○					
618	2		インフルエンザ		○					
619	1	1	インフレ(ーション)		○					
620	2	2	引用	引用			○			
621	2		いんりょうすい	飲料水	○					
622	1	2	いんりよく	引力	○					
623	2		ウィークエンド		○					
624	1		ウィークデー		○					
625	3	2	ウィスキー・ウイスキー		○					
626	3	1	ウィルス・ウイルス		○					

遺		炒*	
イ/ (ユイ)	1 (1) 小6	いた・める/い・る	(1)
5		5	
4		4	
3		3	
2		2	
1	遺徳・な、遺産、遺失物、遺跡、遺体、遺伝 - する、 遺言 - する	1	
外		外	(炒める)、(炒る)

緯		→ イチ/イツ/ひと/ひと	
イ	1 (1)	つ	5 (4) 小1
5		5	一、一日<いちにち>、一日<ついたち>、一つ、 一月、一人
4		4	一度
3		3	一番、一部、一生、一杯な [たくさん]、一 般、一… [一包み]、一休み・する、一人一人、 万一
2		2	… [日本一]、一々、一員、一応、一段と、 一度に、一人前 [成人]、一流、一家、一昨日 <いっさくじつ>、一昨年<いっさくねん>、 一種 [1つの種類]、一緒 [同じ]、一緒に、一 層、一旦、一定、一方、均一な、…均一な、 精一杯、第一、同一な、一言、一通り、一ま
1	緯度、経緯	1	
外		外	

謂*	
イ/いい/い・う/いわ・	
5	
4	
3	
2	
1	
外	

公式テキスト

学ぼう! にほんごシリーズ (日本語能力試験対応)



日本語 NAT-TESTの学習には、『学ぼう! にほんご』がおすすめです。豊富な副教材もご用意しています。

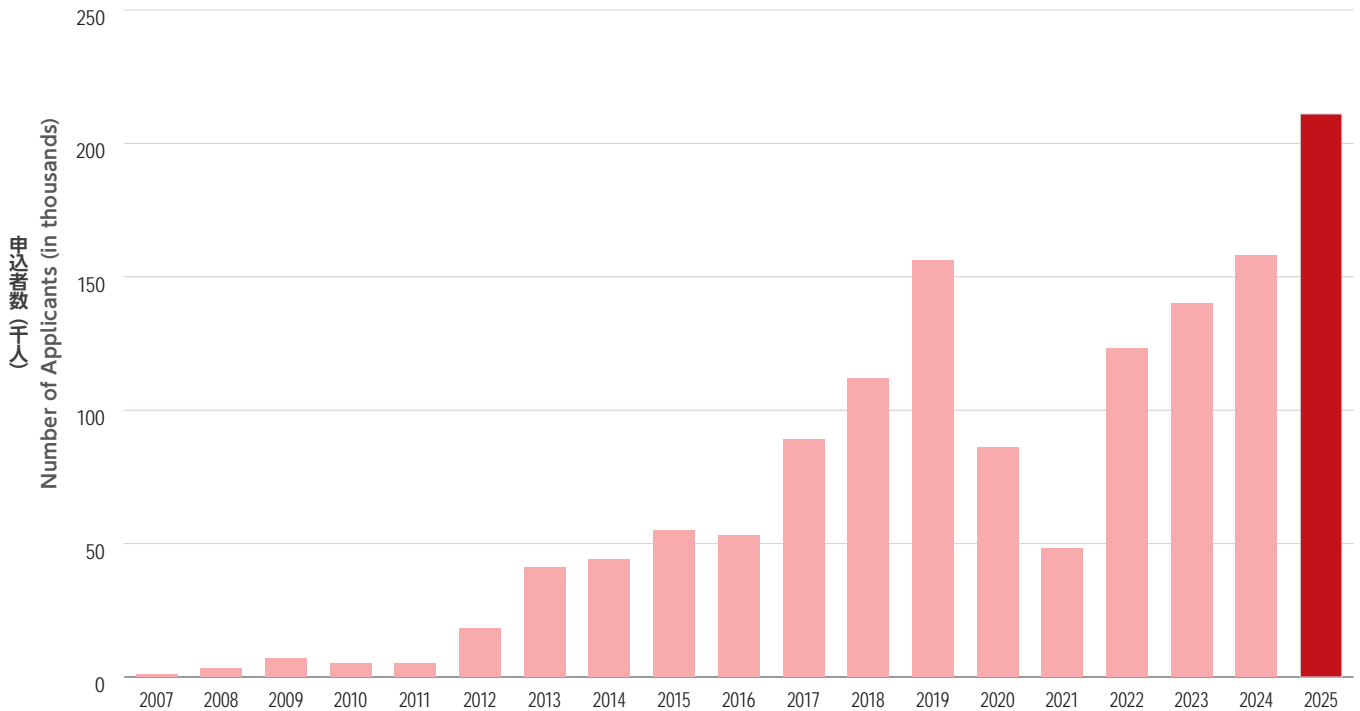
日本語NAT-TEST 統計 NAT-TEST Statistics

年度別申込者数

Number of Applicants by Year

* このグラフでは、前年の 11 月 1 日から当年の 10 月 31 日までを1年としています。

* In this graph, one year starts from November 1 of the previous year.

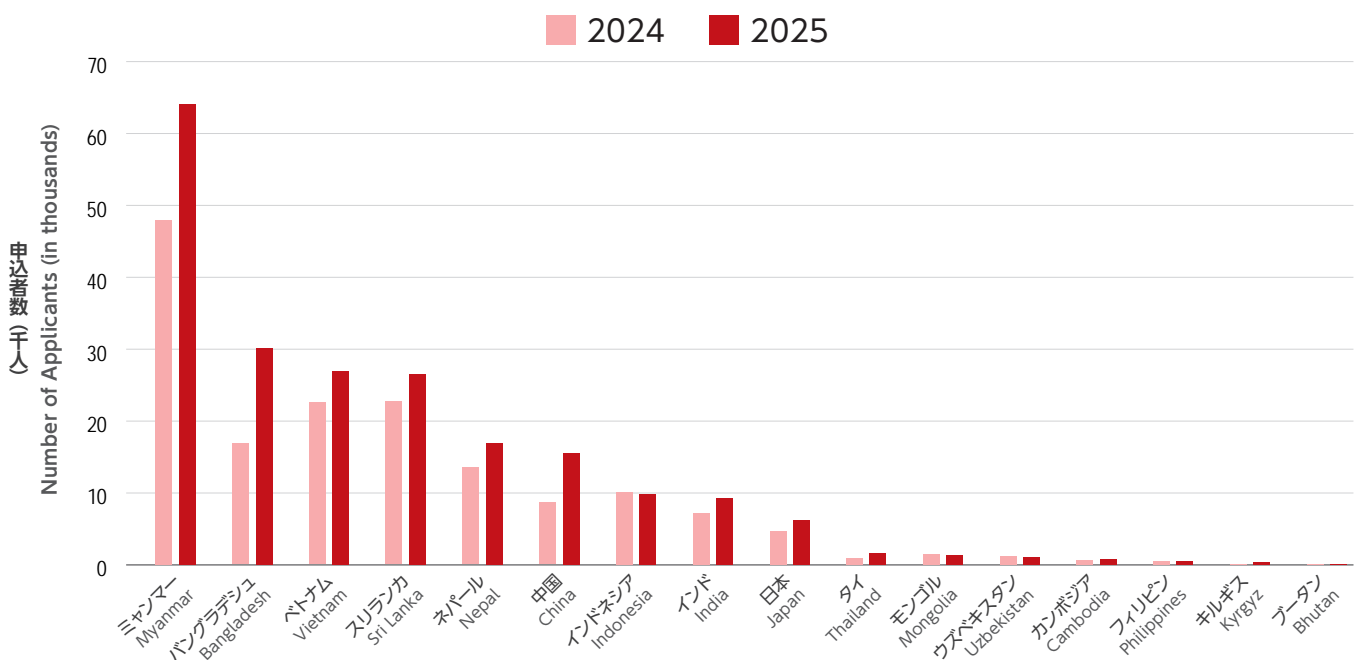


国別申込者数

Number of Applicants by Country

* このグラフでは、前年の 11 月 1 日から当年の 10 月 31 日までを1年としています。

* In this graph, one year starts from November 1 of the previous year.

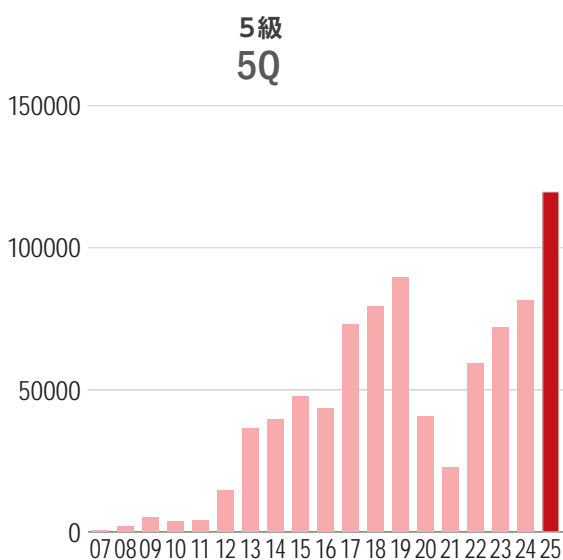
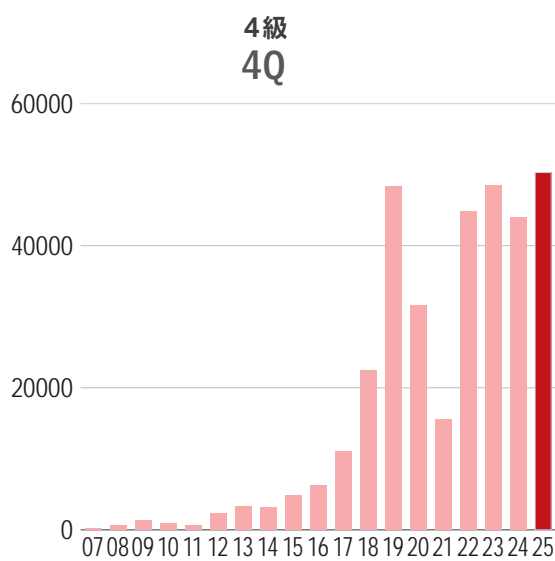
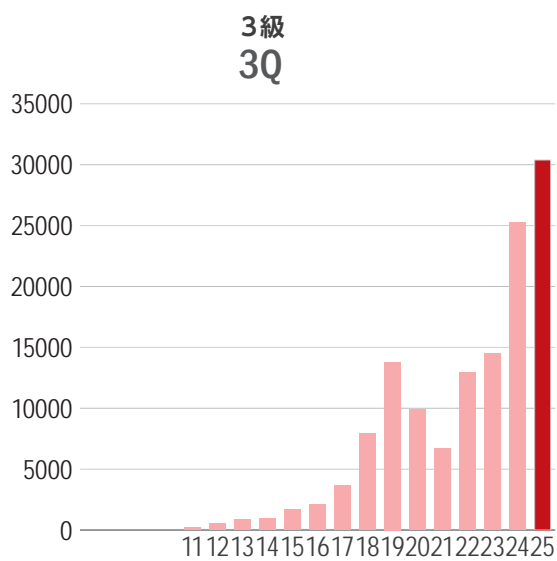
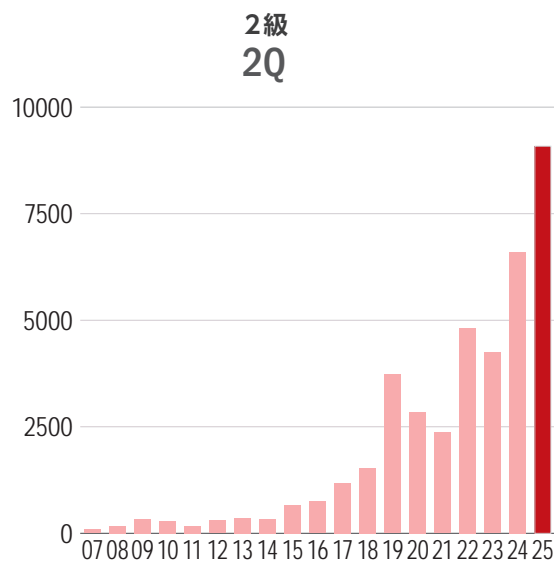
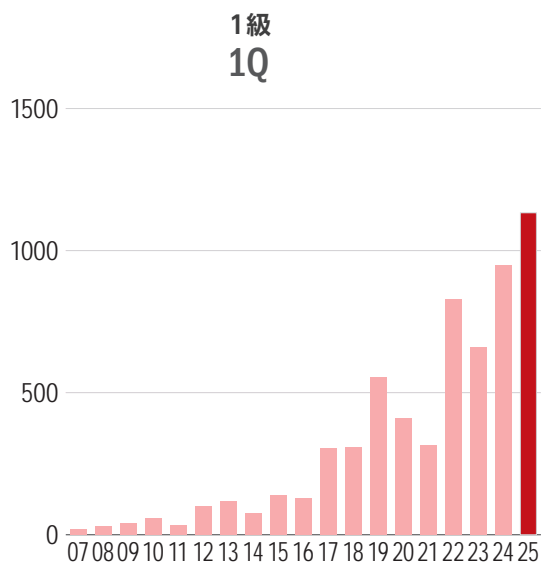


級別申込者数

Total Number of Applicants by Level

* このグラフでは、前年の11月1日から当年の10月31日までを1年としています。

* In this graph, one year starts from November 1 of the previous year.

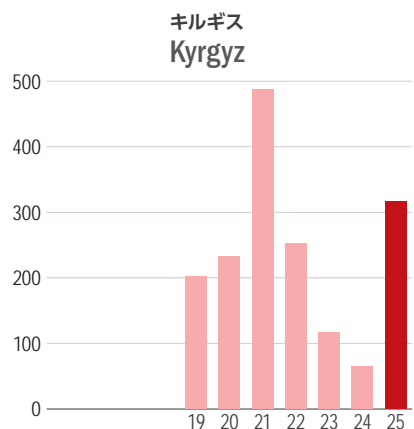
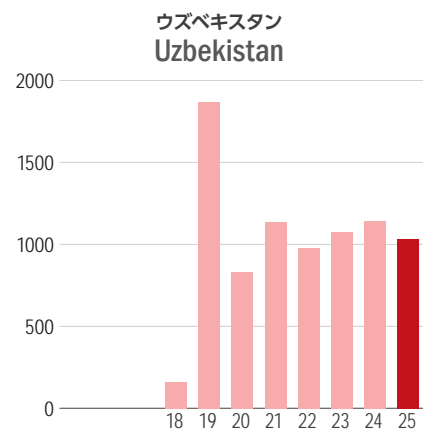
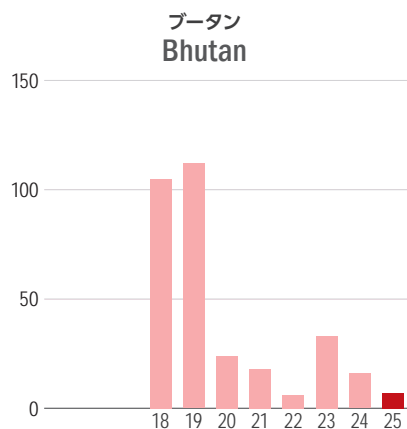
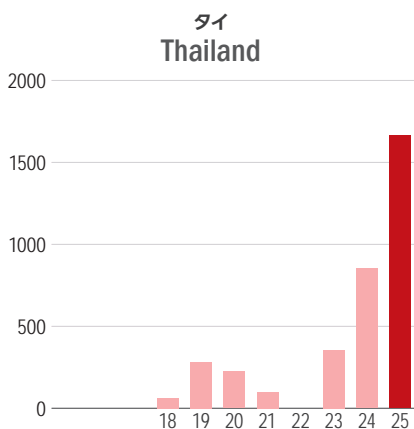


日本語NAT-TEST 統計 NAT-TEST Statistics

初年度から 2025 年度までの国別申込者数

Number of Applicants by Country from the First Year to 2025





* このグラフでは、前年の11月1日から当年の10月31日までを1年としています。
 * In this graph, one year starts from November 1 of the previous year.

日本語 NAT-TEST をご利用の皆様へのお願い To All Users of the Japanese Language NAT-TEST

日本語 NAT-TEST の誓い

The Japanese Language NAT-TEST Code of Honor

日本語 NAT-TEST は、厳正公正な試験運営のため、すべての受験者と利用者、運営者が守るべきルールとして「日本語 NAT-TEST の誓い」を設けています。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

To conduct a strict and fair test, the Japanese Language NAT-TEST has set "The Japanese Language NAT-TEST Code of Honor" for all examinees, users, and administrators to follow. We thank you for your cooperation.

情報提供

Provision of information

試験での不正行為撲滅のためには、皆様からの情報提供が非常に重要です。不正行為を見たり聞いたりしたときにはご連絡ください。匿名でも結構です。

In order to eradicate dishonest behaviors in the test, it is very important for you to provide any information about dishonest behaviors. If you see or hear about any cheating, please contact us. Anonymous reporting is also welcome.

日本語 NAT-TEST の誓い

日本語 NAT-TEST は不正をしません。
 日本語 NAT-TEST は不正を許しません。

The Japanese Language NAT-TEST Code of Honor

I will not cheat in the Japanese Language NAT-TEST or engage in any dishonest act.

I will not tolerate any cheating or dishonest act.

電子メール Email

nattest.no.cheating@senmonkyouiku.co.jp

解答用紙 Answer sheets

We do not tolerate any dishonest acts regarding the test.
 If you see or hear about any cheating or dishonest acts, please make a note about it below.

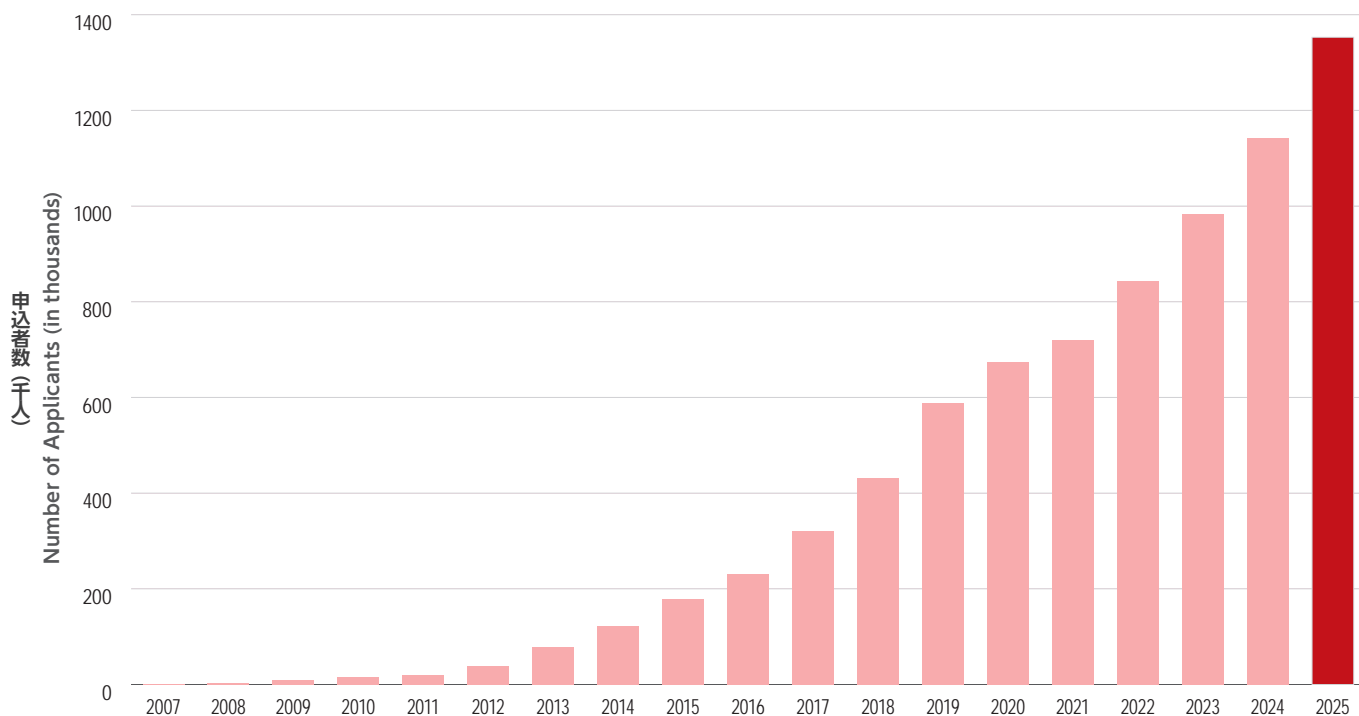
日本語NAT-TEST 統計 NAT-TEST Statistics

累計申込者数

Cumulative Number of Applicants by Year

* このグラフでは、前年の11月1日から当年の10月31日までを1年としています。

* In this graph, one year starts from November 1 of the previous year.



日本語NAT-TESTと日本語教育の参照枠 / CEFR との対応 NAT-TEST and the Reference Framework for Japanese Language Education / CEFR

級 Level	総合得点 Total Score	CEFR 相当レベル Reference CEFR Level	NATスコア NAT Score
1Q	142 ~	C1	945~
	100 ~ 141	B2	785~
	~ 99	—	—
2Q	112 ~	B2	785~
	90 ~ 111	B1	550~
	~ 89	—	—
3Q	104 ~	B1	550~
	95 ~ 103	A2	225~
	~ 94	—	—
4Q	90 ~	A2	225~
	~ 89	—	—
5Q	80 ~	A1	120~
	~ 79	—	—

CEFR 相当レベル表示は、合格した場合に限り行います。この表示は、日本語 NAT-TEST が測定する「聞くこと」「読むこと」に基づくレベルであり、それ以外の能力を直接評価するものではありません。

The reference CEFR level is only displayed for cases in which the examinee achieves the requisite total score and Sectional Pass Marks, passing the test. The CEFR correspondence table reflects reference levels based solely on the NAT-TEST's measurement of "listening" and "reading" abilities. It does not directly evaluate the abilities of "writing," "speaking (conversation)," or "speaking (presentation)."